

れまで地域の人を守り続けてきたことを大切にしたいと強く思っています。例えば地区の役員や行事にも積極的に関わるようにしています。特に子どもが生まれてからは地域の行事にも自然と参加しやすくなったように感じます。

山下 私もこれまで地域の役員をいろいろと経験してきました。会合や行事に参加すると関西弁で話すことから「どこから来たの?」という話題になり、そこから会話が盛り上がる人が多いです。

安曇野の未来、今後やりたいこと

三條 自然の遊び方を知らなければ、ただの森や風景にしか見えないこともあります。地元の人にはいつも通りの風景でも、例えば釣り竿を1本持つて糸を垂らせば魚が釣れる、川に入っただけで安全に遊べる方法がある——。そういうことを知らない人は、まだまだいると思います。私が行っているガイドの仕事は、そうした自然の魅力を伝えることが目的です。

自分自身が楽しんでいると、その魅力はより多くの人に伝わると感じています。そのためにももっとガイドの人がいてもいいと思っています。教える側と聞くと難しく思うかもしれませんが、どんなわずかなことでも人に伝えられる人はもうガイドになっています。↙



たら安曇野の魅力を伝える人がたくさん増えていいんじゃないかと思っています。今後はそのような仕事もしていきたいと思っています。

池内 実は安曇野には変わらないでほしいなという思いがあります。地域の行事や伝統を、自分自身も大切にしたいと思っていますからです。安曇野に住んで10年以上になりますが、今でも「住まわせてもらっている」という感覚があります。だからこそ地元の人が大切にしてきたものを、これからも一緒に守っていきたいと思っています。↘

かったと思えるような街でいてほしいと思います。

地元の人や移住を検討している人へ

神谷 移住したい人へ何かのヒントになればいいなと思って普段からSNSで発信しています。また、地元の人も私の投稿を見て改めてこの街を好きになるきっかけになってくれたらうれしいです。

池内 周りの人に本当によくしてもらっているので、感謝の気持ちが一番大きいです。

私も新しく安曇野へ移住する人達に私が周りの人にしてもらったことを恩返しできたらと思っています。

飯島 全力で安曇野の素材を使って商品を作りたいです。これから移住する皆さんにはなにか「新しい視点」を持つてきてほしいと思います。ないものばかりに目が向いてしまうとあれもない、これもないとなってしまうがちですが、目先を変えて地元にあるもの、いいものを探すとか、都会にあるものがない生活を楽しめるという視点を持って移住してほしいです。

三條 安曇野の魅力に気づいてないけどちょっと気になる人はたくさんいると思うんです。「まずうちの民宿に泊まりにきてよ」とおすすめたらい



山下 地元の皆さんの中には「何もない」という人もいますが、外から見ればたくさんすてきな魅力がある。私が安曇野を好きな理由を話すと「そんな風に思ってくれてありがとう!」って言うってくれるんです。なので移住者もずっと住んでいる人も住んでいてよ



神谷 朱莉さん
(豊科・愛知県出身)
2025 年移住。合同会社 ふうろう経営デザイン室を夫婦で経営。SNS で安曇野暮らしを「安曇野1年生のあかりん」として全国へ発信している。

三條 桜芽さん
(穂高有明・東京都出身)
2024 年移住。株式会社 Pack Vacation 代表。
民宿を経営しながら自然体験ガイドも行っている。



飯島 三香さん
(三郷小倉・神奈川県出身)
2022 年移住。Studio sambo (洋菓子工房) を経営。
マルシェや卸、直売所で洋菓子を販売。



神谷 安曇野は山と田んぼ、そして水が本当に美しい場所です。こういう土地は探してもなかなか見つからないと思います。ですが、県外の友達に「安曇野でおすすめの観光地はどこ」って聞かれると、「安曇野の良さを感じてもらえる場所ってどこを紹介しようか」と考え込んでしまうことがあります。でも、それくらい自然や雰囲気そのものが魅力なんだと思っています。人口が減りゆく今の社会で何もしなければ地域は少しずつ衰退してしまいます。大好きなこの場所の自然や文化、暮らしを守るためにも安曇野の魅力を生かした



がら良い方向へ発展させていくことも大切だと思います。私もその一員として魅力を守り、伝えていけるようなお店を近い将来開きたいと考えています。

です。泊まってもらえたら自然体験も含め安曇野の魅力を存分に感じてもらえると思います。多くの人に安曇野の良さをもっと知ってもらいたいですね。

山下 私も池内さんと同じで地域の皆さんには感謝の気持ちでいっぱいです。移住して14年がたち、少しは地域の人になれてきたかなと思っていますので、今度は「恩送り」という形でその感謝をお返ししていきたいと思っています。私は移住相談を行っているので、地元の人に教えてもらった地域や天候のことと一緒に自分の経験も相談者にしっかりと伝えて安曇野をたくさん知ってもらい、もっと好きになって、移住してもらえたらいいな。そういう活動を続けていきたいと思っています。

